



# 病害虫発生予察注意報 第 2 号

## 斑点米カメムシ類の発生が多くなっています！

～斑点米の発生防止には乳熟期の防除が重要です！～

### [発表の内容]

作物名 : 水稻

病害虫名 : 斑点米カメムシ類 (クモヘリカメムシ, イネカメムシ, アカスジカスミカメ等)

発生量 : 多い

発生地域 : 県下全域

### [発表の根拠]

- ① 7月下旬現在, 水田における斑点米カメムシ類のすくい取り虫数は平年より多い (表 1)。
- ② 7月下旬現在, 水田におけるすくい取り虫数は, クモヘリカメムシおよびイネカメムシで平年よりやや多く, アカスジカスミカメで平年より多い (表 2)。
- ③ 気象予報によると, 向こう 1 か月の気温は平年より高いと予想され, 発生を助長する条件である。クモヘリカメムシでは, 高温条件下で産卵数が増加し, 幼虫の発生量が増える。

表1 水田における斑点米カメムシ類の地域別生息状況 (平成30年7月下旬調査)

地域	調査地点数	すくい取り虫数 (頭/10回振り)			発生地点率 (%)		
		本年	平年	順位 <sup>1)</sup>	本年	平年	順位
県北	8	5.3	0.4	1	38	23	3
県央	15	1.0	0.4	1	27	21	4-6
鹿行	6	0	1.2	10-11	0	30	10-11
県南	19	0.2	0.3	5-9	5	14	10-11
県西	9	0.2	0.4	5-6	11	19	6-9
全県	57	1.1	0.4	1	16	20	6

1) 本年を含む過去11年間における本年値の順位

表2 水田における斑点米カメムシ類の種別生息状況 (平成30年7月下旬調査)

種	すくい取り虫数 (頭/10回振り)			発生地点率 (%)		
	本年	平年	順位 <sup>1)</sup>	本年	平年	順位
クモヘリカメムシ	0.49	0.22	2	11	9	5
イネカメムシ	0.04	0.02	3	2	2	3-6
アカスジカスミカメ	0.49	0.09	1	4	5	6-7
合計 <sup>2)</sup>	1.09	0.44	1	16	20	6

1) 本年を含む過去11年間における本年値の順位

2) その他の種を含めた合計

### [防除対策]

- ① 成虫を対象とした防除適期は穂揃期である。穂揃期に成虫を確認した場合は防除を実施する。
- ② 幼虫を対象とした防除適期は, 出穂 10~15 日後頃 (乳熟期) である。乳熟期以降の幼虫密度が高いと斑点米の発生量が多くなる\*ことから, 斑点米の発生を抑えるためには, この時期の幼虫密度を低下させることが重要である。

- ③ 防除薬剤は表 3 を参考にする。すでに防除を実施した水田であっても、その後幼虫がふ化したり新成虫が再飛来したりするので、発生を認めた場合は追加防除を実施する。
- ④ ふ化直後の幼虫は非常に小さいため、出穂期に成虫を確認した水田ではよく観察する。
- ⑤ 周辺より出穂の遅い水田では、周辺の水田で増殖した新成虫の飛来により密度が高まることがあるので注意する。
- ⑥ 薬剤を散布する際は、収穫前日数に十分注意する。また、周辺作物（特に早生品種を作付している水田がある場合）に飛散しないよう注意する。

※ 乳熟期から糊熟期に捕虫網（直径 36cm）を用いた 20 回振りすくい取り調査で幼虫が 3 頭以上確認される水田では、玄米等級が 2 等以下となる確率が高い。

表3 稲のカメムシ類防除に使用できる主な薬剤（平成30年7月25日現在）<sup>1)</sup>

薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	有効成分の種類	同左毎の総使用回数	IRACコード <sup>2)</sup>
キラップフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	エチプロール	2回以内 <sup>3)</sup>	2B
MR. ジョーカーEW	収穫14日前まで	2回以内	シラフロフェン	2回以内	3A
アルバリン顆粒水溶剤／スタークル顆粒水溶剤	収穫7日前まで	3回以内	ジメテフラン	4回以内 <sup>4)</sup>	4A

1) 使用方法「散布」の登録内容

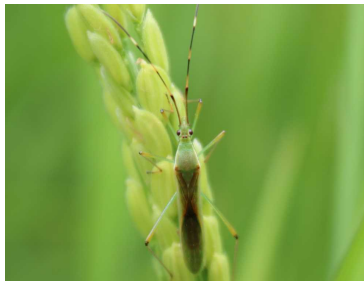
2) 殺虫剤抵抗性対策委員会（IRAC）により、殺虫剤の有効成分を作用機構により分類し、コード化したもの

3) 但し、は種時（直播）又は移植時までの処理は1回以内

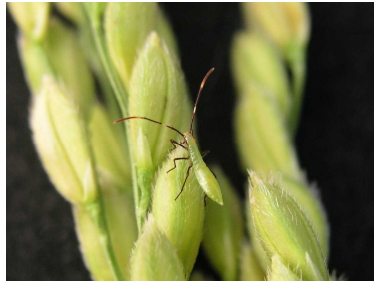
4) 但し、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内

#### （注意事項）

- ・ 農薬を使用する際は、ラベルに記載されている使用方法、注意事項を必ず確認する。
- ・ ミツバチ被害軽減のため、ミツバチの活動が最も盛んな時間帯（午前 8～12 時まで）の農薬の散布はさける。



クモヘリカメムシ成虫



クモヘリカメムシ幼虫



イネカメムシ



アカスジカスミカメ